

学習内容報告書 フォーマット

学校名	港区立青南小学校
授業者	寺師 純子

1. 単元計画

実施した活動内容に基づきご記入ください。

1-1. 単元名

「花と実」

1-2. 学年

第5学年

1-3. 教科（単元を実施する教科を全てお書きください）

理科

1-4. 単元の概要

陸上植物の受粉と海草の受粉を比較する。

1-5. 単元設定の理由・ねらい

海草も陸上植物と同様に生命をつなげていることを理解し、地球環境を海洋環境に広げて考える。

1-6. 育みたい資質や能力、態度

地球環境を海洋環境に広げて考えることができる。

1-7. 単元の展開（全1時間）

時数	学習活動・主な内容	教師の指導 / ◎主な評価 外部連携 / 使用教材等
1	○ 単性花を観察する。	・両性花を想起させる。 ◎ 花の内部に着目して調べている。
2	○ 雄花・雌花の違いを調べる。 ○ 花粉の役割について考える。	・おしべ、めしべの形状の違いに気づくことができるにする。 ・花粉の様子に着目させる。 ◎ 動物の誕生を想起して調べている。
3 4	○ 花粉をつけた雌花と、つけていない雌花の結実の様子を比べる。	・花粉をつけた雌花とつけない雌花に袋をかぶせ、条件を整えて実験を行う。 ◎条件統一の意味を理解している。
5 6	○ 様々な花粉を観察する。 ○ 花粉の形状による受粉の仕組みを理解する。	・実験結果をもとに花粉の役割を考え、顕微鏡でさまざまな花粉を観察する。 ・花粉管の伸長を観察し、受粉の仕組みを理解する。

		◎ 花粉の形状と散布の仕方を関連付けようとしている。
7	○海草の受粉を調べる。	<ul style="list-style-type: none">・ 陸上植物と比較しながら海草の受粉の仕方について理解する。◎ 海の植物について興味をもって調べている。

2. 学習活動の実際

実施した単元中のキーとなるような時間（導入の時間・主となる活動の時間・まとめの時間など）の学習内容をご記入ください。また、複数の時間についてご記入いただける場合には、この項目をコピーして複数記入していただいて構いません。

2-1. 単元における位置づけ

単元 時間中の 時間目

※例：単元 10 時間中の 2 時間目 / 単元 15 時間中の 4, 5 時間目

2-2. 本時の目標

海草も陸上植物と同様に生命をつなげていることを理解する。
海洋環境の保全について考えをもつ。

2-3. 本時の展開

主な学習活動 / 反応	教師の指導・支援 / 評価の視点（方法）
<ul style="list-style-type: none">○ 陸上植物の受粉の色々を想起する。○ アマモの受粉の映像資料をみる。 ○ 藻場としてのアマモの役割を知る。 ○ 藻場としてのアマモの育苗の取り組みを知る。	<ul style="list-style-type: none">○ 花粉の形と散布の方法について想起させる。○ アマモも雌花尾花があり水中で受粉していることに気づかせる。◎ 海の植物の受粉について理解している。（ノートの記述）○ 藻場に生きる生物を知らせる。○ 藻場の保全活動やその取り組みについて紹介する。◎ 藻場の保全について考えをもてる。 <p style="text-align: right;">（ノートの記述）</p>

3. 今回の活動の自己評価

アマモの育苗体験を実施することができなかった。種子の入手が難しいことや関連機関との連携の環境を整えることができなかった。花と実の学習に海草の受粉を加えることで、海洋環境への意識は高まっていくと考えられる。

4. 今後の課題

アマモの種子の入手が課題である。

5. 本学習内容報告書活用にあたっての留意点

4年間の年間計画に海洋教育を組み込んだ実施計画であること。